

2018 年度活動計画

(1) 『電動アシスト車椅子で行動範囲を広げよう』キャンペーンの実施

【内容】

障がい者・高齢者は外出する手段の不便さを考えてとかく引き籠もりになりがちである実情を踏まえ、外出する手段として性能の良くなった電動アシスト車椅子の利用を勧奨する機会を提供するため、試乗会を開催する。

【開催予定】

- ・ 10月7日（日曜日） 雑居まつり 羽根木公園
- ・ 12月9日（日曜日） ふれあいフェスタ 世田谷区役所

（※抽選による）

(2) 自治体との連携強化

【内容】

世田谷区等自治体より要請のある、小中学生対象のユニバーサルデザインに関する出前講座、並びに自治体より紹介のある、住民よりのバリアフリー相談に、積極的に対応する。

(3) 世田谷区役所庁舎建替えにあたり意見提案

【内容】

誰もが行きたいと思う使いやすい庁舎の建設に向け、車椅子利用者の目線で意見を提案する。

(4) 小田急線の地下化により変貌する下北沢のまちづくりに対する
意見提案

【内容】

下北沢PR戦略会議UD部会のメンバーとして誰もが住みやすいまちづくりに向け、車椅子利用者の目線で意見を提案する。

(5) 『車椅子で楽しい美術館』づくりに向けた検証・書籍化

【内容】

バリアフリー新法やハートビル法を遵守した美術館であっても車椅子利用者に本当に使いやすく、観やすい、楽しめる美術館であるかを検証し、書籍を出版する。

(6)他団体等との連携強化による『心のバリアフリー』の啓発

【内容】

共生社会に向けて、障がい者支援団体等福祉関連団体のみならず、個人、企業、行政と連携を図り、『心のバリアフリー』を広める。

(7)一人で車椅子で外出する人のための環境整備活動

【内容】

外出先である街や建物の各種バリアフリーを提案することはもとより、最近介助者をつけず一人で車椅子で外出する人が増えているにも拘らず、まだまだバッグ・ドリンクホルダー・照明・杖立て・デコレーショングッズ等車椅子用のグッズが開発されていないため、便利なグッズの開発・デザイン・製作・販売を手がけていく。